

あなやま

社会福祉法人 信和会

〒407-0263

山梨県韮崎市穴山町 5164

TEL 0551-25-6100

FAX 0551-25-6103

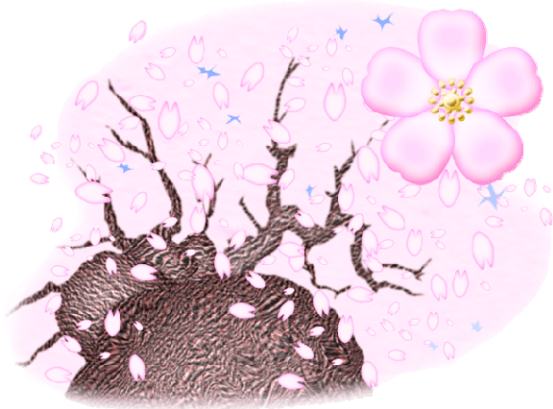
<http://www.sip-shinwakai.jp>

編集責任者 栗原 信



満開のさくらと新社会人

『新年度に向けて』



社会福祉法人信和会 理事長

栗原 信

昨年12月に中国湖北省武漢市で原因不明のウイルス性肺炎として症例が確認されて以来感染が中国外にも拡大し、現在では203ヶ国に渡り、感染者180万人を超え、11万人以上の死亡者が出ており、日本だけでなく、世界中が不安に包まれている現状です。近経済の状況は、2008年のリーマンショック時の連鎖的かつ世界規模の金融危機以上に深刻になってきています。コロナウイルスをWHOが「パンデミック」と表明したことで株価も大暴落し、今年の東京オリンピック2020大会の延期も決定されました。実態経済にも大きな影響が出始め、金融不安、生活面の不安が世界中に襲い掛かっております。全国の福祉施設、医療施設でも集団感染が確認され大変な状況となっており、当法人内でも、出社時の検温、マスクの徹底、アルコール消毒、清掃の徹底等行っておりますが、見えないウイルスとの戦いの中でこれなら安心という決定打がない中での毎日を過ごしています。

そんな中、本来であれば3月に理事会、評議員会を行い、今年度の補正予算、来年度の事業計画、予算の審議を図らなければならないのですが、利用者、理事、評議員、職員の健康と安全を考え、書面にて個別に説明させていただく方式にし、法人として今年度は以下5つの計画を推進していくことを提案しました。

1. 地域での計画的な福祉基盤の確立と制度改革への働きかけ
2. 経営管理の強化と福祉サービスの質の向上
3. 福祉人材の確保・育成・定着の推進と職場環境の向上
4. 地域への貢献活動に向けての環境づくり
5. 大規模災害と防災への対応強化

この、提案について同意、確認を得ることができましたので、5つの柱をもとに各施設、事業所ごとに計画を策定し、1年間進めてまいります。

しかし、今は、日に日に事態が悪化してきています。このような事態だからこそ、私たちは私たちが出来ることを互いに力を合わせてこの状況を乗り越えることが必要なのだと思います。厳しい状況にある方もいらっしゃるのかもしれませんが。私たちの法人で何が出来るのかは、分かりませんが、何か困りごとがあれば1人では悩まずに相談してください。一緒に悩み、考えることはできません。そして一緒に協力し合い助け合うことはできるはずです。

マザーテレサは、「暗いと不平を言うよりも、自ら進んで明かりをともしなさい。誰かがやるだろうということは、誰もやらないということを知りなさい。」と語っています。

今こそ、私たちは、他者のことを考え一人一人が自分にできる行動をしていかなければならないのだと思います。

暗い雰囲気の世界の中ですが、私はいつも以上に法人の理念にもあります感謝の心をもって日々を過ごしていきたいと思っています。コロナウイルスの終息まで皆さまと一歩、一歩ずつ進んでまいりましょう。



(新型コロナウイルス感染症の数値は令和2年4月13日現在のものです)

本部だより

社会福祉法人 信和会 法人本部
〒407-0263 韮崎市穴山町 5390
TEL0551-25-6100
E-mail: honbu@sip-shinwakai.jp



理事会・評議員会報告

- 開催日：理事会：令和2年3月20日（金）＊書面承認
評議員会：令和2年3月26日（木）＊書面承認
- 開催方法：理事、監事、評議員の方の同意、確認受諾
- 審議事項：第1号議案 令和元年度補正予算
第2号議案 令和2年度事業計画
第3号議案 令和2年度予算
第4号議案 諸規定変更及び事業報告



令和元年度第3回の理事会・評議員会は、当初3月20日に開催予定でしたが、「新型コロナウイルス感染症」の拡大防止のため、役員の方のご参加は自粛してもらい、上記審議事項につき役員全員の方の同意書、確認書に署名捺印をいただき、異議のないことを確認することで、理事会・評議員会が成立いたしました。

今回の措置は、厚労省からの通達もあり、当法人の定款にて規定している方法にて実施いたしました。初めての対応であり役員の方のご理解、ご協力により成立できましたことを心より感謝申し上げます。

令和元年度の決算見込みも安定した収支を予想しており、鳳凰会館の開所他事業内容も計画通りに進捗しております。令和2年度事業計画及び予算もほぼ令和元年度同様の事業規模としております。「新型コロナウイルス感染症」の予防対策は、面会や活動の自粛や、新型コロナウイルス感染症予防のための「行動指針」策定などできるだけの対応を行い、拡大防止に努めております。今後ともよろしく願いいたします。

新社会人の抱負



穴山の里：生活支援員 堀内雄太（甲斐清和高等学校卒）



小さい頃から人と接することが好きで、将来は人と関わる仕事に就きたいと思っていました。高校卒業しての私は支援や介護について初心者ですが、早く仕事を覚え、先輩や利用者の皆さんにご迷惑をお掛けしないよう頑張りたいと思っています。基本理念である『接遇・感謝・向上』のもと、精一杯努力し、利用者の皆さんには安心・安全に過ごして頂けるよう、常に感謝の気持ちを忘れずに、何事にもチャレンジし、より多くの経験が出来るようにして行きたいと決意しています。よろしく願い致します。

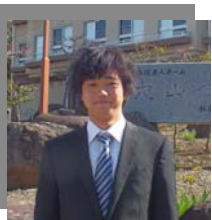
穴山の杜：介護員 新海里菜（北杜高等学校卒）



この春、社会人一年生となりました。まだまだ右も左もわからず戸惑うことが沢山ありますが、一日でも早く仕事に慣れ社会の一員として活躍したいと思っています。

私がこれから大切にしたいと思っていることは＜笑顔＞です。自分自身が明るい気持ちになることは勿論、周りの人も笑顔に出来る力があると思っています。先輩方から知識や技術を学び、立派な介護士になれるよう日々精進したいと思っていますので、よろしくおねがいいたします。

穴山の杜：介護士 伊部圭亮（大原学園甲府校卒）



本年度、穴山の杜介護職員として採用となりました伊部圭亮と申します。私は社会人となるまでスーツを着ることが少ない学生でした。緊張と不安で一杯で、これから大変な日々を迎える事と思います。色々な物事を上手に成し遂げるには時間を要する性格です。しかし、努力することは出来ます。大変な中でも、わからないことは先輩方にお聞きし、指導して頂き一日も早く仕事に慣れ施設や利用者の方々の役に立つ戦力になっていきたいと思っています。よろしく願い致します。

穴山の里

障害者支援施設 穴山の里
〒407-0263 韮崎市穴山町 5164
Tel.0551-25-5900
E-mail : sato@sip-shinwakai.jp



令和2年度 チーム穴山の里

～1人はみんなの為に みんなは1人の為に～

施設長就任のご挨拶

施設長 輿水理一



日頃は、社会福祉法人「信和会」ならびに、障害者支援施設「穴山の里」に対しまして、あたたかいご支援ご協力を賜り、心から御礼を申し上げます。

この度、令和2年2月1日付けで、穴山の里施設長に就任させていただきました、輿水理一と申します。よろしくお願ひ申し上げます。

私は、平成元年に穴山の里に採用になり、18年間ほど事務を担当させていただき、その後、他の老人福祉施設で管理者兼ケアマネージャーとして13年間経験を積み、当施設に戻ってまいりました。

この度、穴山の里施設長として重責を担うこととなり、たいへん身の引き締まる思いでございます。障害者・高齢者福祉で培った経験を活かし利用者様にとって安心して楽しく過ごしていただけるような施設づくり、及び利用者様の満足度の向上に努めて参る所存でございます。

穴山の里は、昭和61年5月に開所し、早35年目を迎えようとしています。この間に、福祉制度や障がい者を取り巻く環境は、措置制度から契約制度へ、自立支援法・総合支援法の施行等、短期間で目まぐるしく変化しました。こうした、障害福祉サービスの多様化・複雑化が進む中、選ばれる施設づくりを目指し、全職員一丸となって励んで参ります。また、当法人では“地域に根ざした施設づくり”を基本に、昨年10月に、地域の皆様の交流の場として、地域交流センター「鳳凰会館」を建設しました。

利用者様も、鳳凰会館に於いてボランティアの方々との交流を深め、地域社会の一員として楽しく過ごしております。これからも“信和会”の基本理念である、「思いやりと配慮・挨拶と対話を大切にして、訪れて下さる方々の心が和む施設の風土づくり」を目指し、地域の方々及びボランティアの方々等、大勢の皆様方のご理解ご協力によって、施設が支えられていることを絶えず念頭に置き、精進して参る所存でございます。今後とも、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

<施設内研修>

3月3日火曜日、高齢知的障害者の支援について、施設内研修を開きました。

穴山の里では利用者の高齢化が進んでおり、今後の取り組み方や他事業所がどのように取り組んでいるのかを、わ〜く穴山の里の職員さんにも参加していただき、話し合いました。穴山の里の利用対象者は18歳以上の障害者です。現在の最高齢は80歳、最年少が21歳となっています。障害の種類も様々であるため、今後高齢化に伴いどのような取り組みをしていけばいいのか、全員で考える良い機会になりました。今まで、障害者の支援について学ぶ機会はありませんでしたが、障がい福祉サービスから介護保険サービスへの移行の問題や、食事・入浴・排泄・移動の介助等、これからの課題となる問題点を明確化することが出来ました。

今後も積極的に施設内研修を開催し知識を深め、スキルアップを図っていききたいと思います。

トピックス (施設行事紹介)

新型コロナウイルスにより外出を自粛しております。去年の10月に完成した、鳳凰会館で定期的にバドミントン、風船バレーや玉入れ等のレクリエーションを行っています。広々とした空間の中で思う存分体を動かすことが出来、気分転換をはかっています。園庭では桜が満開になりました。🌸さくら祭りが中止になって残念ですが施設内で花見をし、良い気分転換になりました。

また、毎年恒例となっている味噌作りを行いました。大豆を焦がさぬように攪拌し、機械を使ってミンチ状にしました。樽に詰め約10日間冷やしてから重石をして完成です。2年後が楽しみです。

絵画クラブ



2月14日

山梨県立美術館に絵画の鑑賞と周辺の散策に行ってきました。クラブ活動では構図や色使いなど自由な発想で描いていますが、今後の活動にとっても良い勉強となりました。春に向けて草木が眠っている庭の散策は少し肌寒さを感じましたが、気分転換出来た外出になりました。



お菓子作り



地域でお菓子作りをしている長坂さんをお招きしバレンタインのお菓子作りを行いました。丁寧に教えていただきながら、施設内で収穫したキウイフルーツやホイップクリーム等でデコレーションを行い、とても素敵なものに仕上がりました。もちろん、美味しくいただきました。



地域交流



毎年、北杜市内にある“ウッドペッカー”にて、落ち葉掃きや木の枝を拾い集める、キャンプ場内の整備活動を行っています。キャンプ場のオーナーさんたちと一緒に協力し、環境整備を行いました。たくさんのお客様に喜んでいただければ嬉しいです。

職員紹介



初めまして碓水功治です。34歳独身、趣味は釣りとウィンタースポーツです。

8月1日より支援員として穴山の里勤務になりました。前職も福祉に携わっていきまして、生活介護・就労B型・通所施設・入所施設に計7年ほど勤務していました。半年が過ぎ、仕事も少しずつ慣れてきたところです。前の職場での経験を活かして、役立ていけたらと思っていますので、よろしくお願いいたします。

中田 累です。昨年8月1日に穴山の里に採用になりました。半年が過ぎ、徐々にですが新たな環境での仕事にも慣れてきました。前職も知的障害者入所施設で、6年ほど勤務していました。

今後は以前の経験を活かしながら、さらに専門的な知識を増やし自身のスキルアップを目指すと共に、利用者様一人ひとりに寄り添い充実した生活が送れるように努めていきたいと思っています。



本部からのお願いとお知らせ

世界中に猛威をもたらしている新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響で各事業所では面会の自粛や行事などを中止しております。

御家族の皆様には利用者様の様子など気に掛けていらっしゃるかと思います。事業所毎のホームページを通じて施設内の様子などを随時公開しておりますので、是非ご覧下さい。また、感染防止のため皆様におかれましても感染症対策や健康管理を心がけてください。

具体的には、石けんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒などを行い、できる限り混雑した場所を避けてください。また、十分な睡眠をとっていただくことも重要です。人込みの多い場所は避け、屋内でお互いの距離が十分に確保できない状況で一定時間を過ごす小規模患者クラスター（集団）となりうる事も把握されている状態です。何卒ご理解・ご協力をお願い致します。

穴山の杜

特別養護老人ホーム穴山の杜
〒407-0263 韮崎市穴山町 5390
TEL0551-25-6100
E-mail : mori@sip-shinwakai.jp



例年にない暖冬の影響で、施設周囲の桜もすでに葉桜になってしまいました。又、インフルエンザ、コロナウイルスの蔓延問題で、長期にわたり施設入居者への面会禁止となり、ご家族の皆様には大変ご不便な又ご無理なお願いをしております。お陰さまで入居者、職員とも罹患することなく過ごせていることに感謝しております。

新しい年度が始まり、3月開催の理事会、評議員会において承認されました事業計画に沿って運営をしてまいります。特に今年度は業務のマンネリ化を防ぐことを重点に、日々活動することを目標とします。施設を開設して14年目を迎え、一人一人が意識改革し新たな視点で業務を見直すことが大事なことだと考えます。” 初心忘れるべからず “です。

新年度を迎えるにあたって

介護部主任 小尾美香

思い返せば平成26年にユニットリーダー研修に参加させていただき、座学・実務研修と同じ志を持つ仲間と出会い、学び、良い刺激をもらい施設へ帰り、心新たにユニットケアを進めてきた事が懐かしく感じる日々です。

あれから6年が経ち、個別ケア(24時間シート作成と見直し)、居住間作り、プライバシーに配慮したマンツーマンの入浴介助等、さまざまな事を行ってきました。その間、科学的介護(おむつ外し)も同時に行い、水分1500cc/日、トイレまたはポータブルトイレでの排泄に力を入れてきました。

今年度は、今まで行ってきたユニットケアを再度みんなで学び直し一から行っていきたいと考えています。施設内の研修や実地施設の方を招いての研修等を積極的に行い、ユニットケアの理解を深めていきたいと考えています。また、今期ユニットリーダー研修に参加する職員が4名います。各々が学び、施設に新しい風を入れてくれるよう期待するとともに、職員一丸となって今年度の事業計画に沿った介護を目指し頑張っていきたいと思っております。

頑張っています！ ～一年を通して～

福島みゆき

穴山の杜に就職して1年が経ちました。振り返ると、入社してすぐは初めてのオンパレードで毎日忙しくて先輩方の動きを観察してばかりでした。勤務も不規則で身体も追いつくのがやっと・・・それでも毎日楽しいと思いつながりながら仕事が出来たのは利用者様、先輩方のおかげです。私が困っている時に声を掛けて頂いたり、相談に乗って下さったり、上手いかなかったエピソードも「うんうん」と聞いて頂き、利用者様、先輩方の指導のおかげで人並みに仕事出来るようになりました。心から感謝しています。

2年目の目標はもっと周りを見られるようになることです。1年目は自分の仕事でいっぱいだったので、今年度はもっと視野を広げ皆さんの力になれるよう頑張ります。1年目の目標だった「人とのつながりを大切にする」事を忘れずに、利用者様により良いサービスを提供出来るよう精進していきます。

第11回山梨県老施協研究総会で成果発表

2月9日(日)にアピオで開催された研究総会に、県内各施設から36チームの成果発表があり、当施設からもユニットの活動成果について[宮本紗英・横森将輝][林志穂・清水照仁][藤森美沙・小尾さおり]の3チームが発表し大きな評価をいただき、事務局より認定証が授与されました。お疲れ様でした！

～名言名句から学ぶ～

馬の耳に念仏

人の意見や忠告は聞き流すだけで、すこしも聞き入れようとしないこと。又、高尚な話を聞いても一向に理解できないことのたとえ。いくら研修会を開催しても、職務に反映することが出来ない職員

長年お疲れ様でした！

穴山の杜開設時より入居者及び職員の健康管理に長年にわたりご尽力いただき施設の医務部門で大きな役割を果たしていただいた、小林みどり看護師が3月末をもちまして退職となりました。豊富な看護経験と明るい人柄で多くの職員、利用者に慕われておりました。今までのご苦勞に感謝申し上げますとともにこれからご健康にて過ごされることをご祈念申し上げます



～委員会活動紹介～

< 接遇レク環境整備委員会 >

委員長 横田春香

活動目的は「入居者・家族・職員間の礼儀作法の徹底」、「笑顔・言葉遣い・態度が全ての方に満足していただける教育・指導」、「生活のマンネリ化防止のレク活動推進」、「施設内外の環境美化活動」となります。接遇については、挨拶の徹底から職員同士で注意しながら、しっかりと挨拶出来るように取り組みを行いました。また、外部講師の樋口しのぶ先生の指導をいただき、より良い人間関係を築き仕事を円滑に進める為の研修をしていただくとともに、コミュニケーションのスキルを学んでいます。レクリエーションについては、年に3回ほど1階喫茶コーナーにて喫茶店を開き好きな飲み物やケーキをメニューから選んでいただき、ご利用者同士や職員がお話ししながら楽しめるように工夫しました。環境整備については、ご家族にもご協力いただき、居室やフロアを掃除していただき快適な環境づくり努めました。また、ご利用者が生活しやすいように、居室内の物の配置等をユニット毎で考えています。

100歳お誕生日おめでとうございます!!



3月13日のお誕生日で100歳を迎えられました!! 昼食には、ユニットで作ったちらし寿司や大きな誕生日ケーキで盛大にお祝いしました。他利用者や職員からのお祝いの言葉に「ありがとう」と話され、大きくカットされたケーキをあつという間に召し上がりました。食事はご自分で召し上がり、車椅子もゆっくりと自走され、お元気に過ごされています。これからも素敵な笑顔を見せて下さい!



春が来ました♪

ひな壇を飾りました! 1階フロアに8段のひな人形を飾りました。8段となると、サイズ感もさる事ながら人形数や小物類、配置場所に毎年苦戦しています。ご覧になったご利用者からは「綺麗だね〜!」「昔は家でも飾ったね」と驚いたり、懐かしんだりして下さい、飾った甲斐がありました。山梨県では1ヶ月遅れでお祝いする風習がある為、4月3日まで飾りました。また、入れ替えて五月人形も飾りました。1階へお散歩にいらした際などにご覧いただき、季節を感じていただきたいと思います。

大地震発生時の図上訓練実施

3月26日(木)の午後4時15分訓練開始。内容は夜11時ころ予知情報なく震度6強の地震が発生したことを想定して職員の身の処し方、入居者に対する処し方について訓練を行いました。突然襲ってくるのが予想される地震、災害に対する心構えは常に身に付けておかなければなりません。自らの安全を確保するとともに、入居者の命を預かる施設としての大きな役割を認識しておくことが大切です

～言の葉研究会～

第六十九回「言の葉研究会」、利用者の作品をいくつかご紹介いたします

五十音順

廣瀬君子

ゆったりと気楽に生きる穴山の杜

内藤政樹

中国行きわが青春なし

十五で甲府連隊に入隊

内藤と美子

ヒソヒソは無し何の話かな

風吹きて竹が揺れてるザワザワと

梅津知美

だから辛いのかんからだが

国会の事務局勤めいい思い出

わ〜く 穴山の里

多機能型事業所 わ〜く穴山の里
〒407-0263 韮崎市穴山町 4433-1
Tel : 0551-25-5866
E-mail : work@sip-shinwakai.jp



新役員の活動がスタートします!!

新年度となり、ともだちの会役員の引継ぎ式をしました。
利用者様の自治会活動は地域貢献の一環となっている環境整備をはじめ、季節行事など多岐に渡ります。
皆のリーダーとして2年の任期を頑張ることを宣言しました。
よろしくお祈りいたします。



工賃向上に向けて…

就労継続支援B型では利用される皆様に少しでも多く工賃をお渡しできるよう、取り組みを続けております。
2019年度の平均工賃は前年度を上回る29,000円を達成することが出来ました。
また、新たな仕事に挑戦する機会もいただき、企業の皆様には大変感謝申し上げます。



女同生活事業所

共同生活事業所 (わ〜く穴山の里内)
〒407-0263 韮崎市穴山町 4433-1
Tel : 0551-25-5866



🌸 新しい職員が入りました 🌸

共同生活事業所で働くことになりました、小林純子です。前職は保育士をしており、短大時代に穴山の里で実習をさせていただいたことがあります。初めての環境に期待と不安でいっぱいですが、今までの経験を活かしつつ、一日も早く仕事を覚え、より良い支援が出来るように取り組ん行きたいと思っています。先輩職員の方々に学びながら、持ち前の明るさで笑顔を忘れず、日々精進していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



🌸 手作りマスク作り 🌸

新型コロナウイルスの収束がみられず、マスクなどの衛生用品が手に入らなくなってきています。そんな中で「ないなら作ろう!」と言うことになり、利用者さんと職員でマスク作りを行いました。以前より雑巾縫いを得意としてきた利用者さんは声掛けだけでスイスイ縫うことが出来ていました。ご自分のマスクなので多少の曲がり具合はご愛嬌・



おはぎ作り



カレー作り 🍲

室内での余暇活動: 初めて挑戦で
おもしろい!フレッシュ(*~*)



穴山の杜ショート

穴山の杜 短期入所生活介護事業所
〒407-0263 菟崎市穴山町 4410-3
TEL : 0551-25-0800



改めて、短期入所ってどんなところ？

開所当初より大勢の方に利用していただいておりますが、まだまだ施設自体が解らず、どのように利用すればよいのか利用を躊躇されているお声も耳にします。そこで改めて施設の内容について説明します。

短期入所とは、まさにその言葉どおり短い期間泊まって過ごされる施設で、食事や排泄や入浴など日常生活に対しての支援が基本となります。その中でレクリエーションを行ったり、専門的なリハビリとまではいきませんが、簡単な運動や歩行訓練、立位訓練など生活リハビリを中心に行ったりします。

それではどういった時に利用されているのでしょうか？例えば冠婚葬祭で家が留守になる、仕事でどうしても家を空けなければならない、旅行に出掛ける、介護から少し手を離しリフレッシュしたいなど・・・また退院後すぐに自宅で生活するには難しい、老健や特養の入所までの間ひとりで暮らすことができない、先を考えて施設に泊まることに慣れておきたいなど、ご利用者本人からの理由とご家族からの理由と様々です。

そのため利用の仕方も1泊から施設入所までの一定の長い期間、毎週決まった曜日、毎月1回、夏の暑い時季、冬の寒い時季、不定期などご利用者やご家族それぞれの状態に合わせてとなります。

家を離れて施設に泊まるとなるとなかなか受け入れることができない方もいらっしゃいますが、1度利用してみると施設の様子が理解でき、泊まることへの心配が無くなったり、家や家族の良さを感じたり、お友達ができたりと、意外と良い効果もあります。利用にご心配があればいつでもご相談ください。

おやつ作り



1月9日繭玉、2月18日柚子饅頭、3月6日どら焼き、3月12日クッキーを作りました。回を重ねるごとに参加される利用者様も増え、とても有意義な時間となっています。『今度は何を作ろうか・・・？』と思いを馳せております。



節分



『鬼は外～、福は内～』皆で手作りの新聞豆をまきました。今年は世代交代し、体の大きい元気な赤鬼がやって来ました。切山椒を食べ、邪気を追い払い、無病息災を願いました。



余暇活動

厚紙を利用してオリジナルのつるし雛を作成しました。女性を中心に、ぼんぼりや桃の花、菱餅に色を塗り、紐で繫いで飾り付け、災いが降りかからず幸せに暮らせることを願いました。“うれしいひな祭り♪”を歌い、ひなあられと甘酒でお祝いをしました。

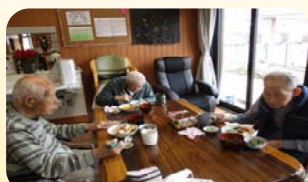


フェルトで作った花びらを一枚一枚貼り合わせ、好みのキラキラシールを付けて、満開の桜を咲かせました。今年は花見ができなかったので、一気に春が訪れました。作品は施設前の展示スペースにも飾ってあります。



開所記念日

暖かな春の日差し、桜や菜の花の香りが春の訪れを知らせてくれる今日4月1日、施設は5年目を迎えました。お昼には栄養士が腕を振るって、毎年恒例の海鮮ちらしを作りました。『ご馳走だね！』『美味しいね！』と大喜びされ、ペロリと完食されました。その後さくら饅頭でお茶会をし、皆で施設の誕生日を祝ってくれました。これからもスタッフ一同頑張ります!!



感謝録

(令和元年12月16日から令和2年3月15日)

～ご寄付を頂きました～ (敬称略)

ありがとうございました。感謝いたします。

高添 致・川崎武志

～ご協力を頂きました～ (敬称略)

☆ボランティア

阿部光雄 (歌謡)・嶋津泰子、長坂泰子・嶋津公子、嶋津良子・森岡節子・西山千代子・堀井敬子 (歌謡協力)・足立悦子 (ピアノ演奏)・飯野祐子 (習字講師)・千野公洋 (太鼓指導)

訪問録

(令和元年12月16日から令和2年3月15日)

☆教育実習 (敬称略)

◎健康科学大学

樋山慧人

◎帝京学園短期大学

渡邊玲海

☆職場体験 (敬称略)

ネオキャリア 山口

☆施設見学 (敬称略)

◎蕨崎市心身障がい児(者)父母の会

令和2年度 辞令交付式 ・ 勤続表彰 ・ 職員研修会

天候に恵まれ桜の花が満開となった4月1日。

新規学卒者をはじめとする新入職員に対する採用辞令及び昇格者の辞令交付式がおこなわれました。

緊張した面持ちで式に臨んだ新入職員を代表して穴山の杜介護士として採用された伊部職員が誓いの言葉を宣誓しました。その中で『若さとチャレンジ精神を以って、何事にも、全力投球でぶつかっていく覚悟です』との言葉がありました。若いて良いなと感じる一言でした。

続いて、昇格者の辞令交付の後、永年勤続表彰が行われました。今まで貢献頂いた功績に感謝するとともに、これからも第一線での活躍を期待しています。

信和会では、新採用職員に対して採用者研修を開催しています。

新社会人は初めての仕事となります。就業規則をはじめとする各種規程や社会保険制度、社会人としてのマナーなどを学びました。既に社会経験がある職員さんも法人内の規程を理解して頂くと共に最新の基準などを改めて認識して頂きました。

学卒採用者は更に2日間の研修に臨んで頂きました。

理事長講話、自己紹介、報連相やブレストなど実践をともなった研修に戸惑いも見られましたが、真剣なまなざしは今後の活躍を大いに期待できる事と実感させて頂きました。

<文責 山下>



編集後記

施設敷地内には多くの桜が植樹されています。見頃を迎えた満開の桜を見ていると、心が癒されます。一步外へ出ると、コロナウイルスの情報があちらこちらから聞こえてきます。最前線の医療従事者の皆様には、頭が下がる思いです。取捨選択、本質を見極める力が試されている時ではないでしょうか。危機管理の甘さが感染を広げます。自分は大丈夫という過信を捨て、自分が感染源とならない努力をしましょう。一日も早く日常を取り戻せるよう私たちにできる事、それは予防しかないと思います。信和会職員も感染防止に努めご利用者の皆様の健康維持に努めております。

(M・O)